



2026年8月7日

各 位

会 社 名 株式会社 千趣会
代表者名 代表取締役社長執行役員 鈴木 聡
(コード番号：8165、東証スタンダード)
問合せ先 常務執行役員 コーポレート本部長 高橋 哲也
(TEL 06-6881-3220)

通期業績予想の修正及び役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向をふまえ、本日2026年8月7日開催の取締役会において、2026年3月30日に公表いたしました2026年12月期の業績予想を下記のとおり修正し、併せて役員報酬の減額について決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正について

(1) 当期の連結業績予想数値の修正(2026年1月1日～2026年12月31日)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 連結当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 45,000	百万円 200	百万円 200	百万円 1,350	円 銭 28.86
今回修正予想(B)	41,000	△1,200	△1,200	0	0.00
増減額(B-A)	△4,000	△1,400	△1,400	△1,350	
増減率(%)	△8.9%	—	—	△100.0%	
(参考)前期連結実績 (2025年12月期)	42,071	△2,588	△2,737	3,940	84.23

（２） 修正の理由

当社グループは、2025 年 2 月 13 日に発表いたしました「再生計画（2025 年～2027 年）」に基づき、事業構造改革と業績回復に向けた施策を推進してまいりましたが、顧客ターゲットを明確化した世代別の事業ドメインへの再編に伴う、当中間連結会計期間における顧客数減少の影響及び通信販売事業における「デジタルシフトに向けた各種施策の進捗及び効果発現の遅れ」等による受注未達の影響が大きく、通期の売上高は前回予想を下回る見込みとなりました。また、受注未達及び在庫処分販売の増もあり、売上総利益額が減少した結果、通期の業績予想は、連結営業損失 12 億円、連結経常損失 12 億円と前回予想を下回り、親会社株主に帰属する当期純利益については、固定資産の売却益もあり収支均衡となる見込みです。

業績予想を修正することとなりましたが、2025 年度より赤字幅は改善しており、通信販売事業における顧客ターゲット別に最適化した商品・チャネル展開や販促施策を強化するとともに機動的な商品投入を本格稼働させることによって、新規・復活の購入会員数が前年同期から増加に転じるなど、一定の成果が出始めていることに加え、EC モールへの出店店舗やリアル店舗における売上も前年同期を上回って伸長し、デジタルシフトへの道筋が着実に進行しているものと捉えております。

今後も再生計画の各戦略を継続実行することによって業績改善に取り組み、早期の黒字転換を実現し、お客様から長く愛される、ステークホルダーの皆様の期待に応えられる企業となるよう努めてまいります。

なお、2027 年 12 月期の予算について策定中であり、2027 年 12 月期の数値目標については、2026 年 12 月期の決算発表時（2027 年 2 月 12 日予定）に公表いたします。

2. 役員報酬の減額について

（１） 取締役、執行役員の報酬減額

2026 年 12 月期の通期業績予想の下方修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、現在も継続している役員報酬の減額に更なる追加を、本日 2026 年 8 月 7 日開催の取締役会において、以下のとおり決議いたしました。

代表取締役社長 月額報酬の 50%を減額（現カット率 30%+20%カット）

社内取締役 月額報酬の 30%を減額（現カット率 20%+10%のカット）

社外取締役 月額報酬の 20%を減額（現カット率 10%+10%のカット）

常務執行役員 月額報酬の 25%を減額（現カット率 15%+10%のカット）

執行役員 月額報酬の 20%を減額（現カット率 10%+10%のカット）

（２） 監査役の報酬減額

本日 2026 年 8 月 7 日開催の監査役会において、社外取締役の削減率に準じて、監査役報酬を削減することを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

（３） 対象期間

2026 年 8 月～2027 年 3 月までの 8 ヶ月間

(注)上記の予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上